

業務の新聞

第 60 号 2020 年 7 月 2 日

マスクはまだですか！

申 12 号を「緊急申し入れ」として行い、JR 東日本東京支社の新型コロナウイルス感染予防について、東日本ユニオンから現実に即した問題提起を行い、同時に今後に向けて、この間の施策展開を『検証する』ことを求めました。論議の中では、エルダー社員が働く職場で「マスクの配布が無い」という否定的な現実を改善するように強く求め「関係主管に伝え改善する」という言葉を頂きましたが、未だに「マスクの配布が無い」は全く改善をされていません。その職場で働くエルダー社員やパート・アルバイトの方々は”自前”でマスクを調達し着用して駅構内で仕事をしていっています。

すべてのグループ会社の社員・エルダー社員にマスクを即時に必要な枚数配布することを求めます。

「グループ会社と一体になって」と施策展開や決算時に言っても、駅構内で働いているグループ会社の方やエルダー社員に「マスクの配布が無い」ことは、残念ながら「グループ会社と一体になっていない」証しです。これじゃダメですよ！

JR 東日本の経営や施策展開に責任を持つ方々！「マスクはまだか！」この声が聞こえたらスピード感と責任を持って即行動してください！

もう 1 度言います、

「マスクはまだですか！」

何より命を守ることを最優先にして、行動しましょう！足りないモノはありませんか？管理者の足りないコトバはありませんか？

もう 1 度言います、

「マスクはまだですか！」

なんのために？

本社も支社も新型コロナウイルス感染予防のために自宅待機やテレワークを実施している最中に、職場では”〇〇委員会”や”マイプロ”などがあたり前のように行われていました。『なんのために？』と率直に感じました。活動自粛と言う判断をしなかった職場管理者の思考や行動は、しっかり検証すべきではないでしょうか？命を守る行動以上に”〇〇委員会”や”マイプロ”がこの会社や職場に必要なのでしょうか？

職場管理者の皆さん！

『なんのために』を今一度考えて頂けませんか？そこが各職場の新たな生活様式のスタートになるのですから。

職場管理者の皆さん！

『なんのために』を職場で社員に話していただけないですか？そこが各職場の新たな生活様式のスタートになるのですから。

『安心』の提供？！

みなさんは、「電車内や鉄道施設に新型コロナウイルスが存在する」と考えていますか？「新型コロナウイルスと共存できる」と考えていますか？

ある経営幹部の方は「お客様に安心を提供する」と話してくれました。では、お客様が安心する JR 東日本とはどういうものなのでしょうか？車内の換気や消毒でしょうか？自主的に社員が車内消毒をすれば良いのでしょうか？業務を担っている労働者の命を守るための施策は万全なのでしょうか？私たちと接するお客様自身の対策は万全でしょうか？これから備えて考えましょう！